

資料1 決算の概況

1. 決算の概要

令和6年度は収益合計4,595,956千円に対し、費用合計4,736,169千円となり、140,213千円の純損失が生じました。令和元年度から6年連続の赤字となり、令和6年度末の未処分利益剰余金は57,042千円まで減少しています。令和5年度と比較すると、純損失額は33,317千円減少しました。純損失額減少の主な要因は、料金改定に伴う給水収益の増加です。

収益については、給水収益が増加した一方、分担金等の営業外収益や特別利益は減少しました。費用については、人件費や受水費が減少した一方、修繕費や動力費等は増加しています。

資本金の収入及び支出としては、建設改良費1,678,980千円に対して、1,497,900千円の企業債借入を行いました。

2. 人口及び戸数

令和6年度末の給水人口は227,503人で前年度比1,132人の減少となっているのに対し、給水戸数は107,608戸で前年度比409戸の増加となっています。人口が減少する一方、戸数は増加傾向が続いています。

	給水人口（人）	前年度比（人）	給水戸数（戸）	前年度比（戸）
令和2年度	233,194	△739	106,115	738
令和3年度	231,929	△1,265	106,397	282
令和4年度	230,437	△1,492	106,882	485
令和5年度	228,635	△1,802	107,199	317
令和6年度	227,503	△1,132	107,608	409

3. 水量

令和6年度末の有収水量は22,507,108^mで前年度比145,105^mの減少となっています。令和2年度に新型コロナウイルス感染症の流行による手洗いの増加等により有収水量は増加しましたが、令和3年度から4年連続で減少しています。

	総配水量（ ^m ）	前年度比（ ^m ）	有収水量（ ^m ）	前年度比（ ^m ）	有収率
令和2年度	25,475,776	575,605	23,672,643	514,110	92.9%
令和3年度	25,085,008	△390,768	23,342,565	△330,078	93.1%
令和4年度	24,892,695	△192,313	22,941,541	△401,024	92.2%
令和5年度	24,430,981	△461,714	22,652,213	△289,328	92.7%
令和6年度	24,316,069	△114,912	22,507,108	△145,105	92.6%

4. 企業債

老朽化した管路等の更新や耐震化工事を継続して実施していることから、企業債残高は増加傾向にあります。

(千円)

	年度当初未償還額	発行額	償還額	年度末未償還額
令和2年度	14,065,210	1,398,300	548,812	14,914,698
令和3年度	14,914,698	649,500	584,560	14,979,638
令和4年度	14,979,638	1,181,100	755,945	15,404,793
令和5年度	15,404,793	1,033,000	691,767	15,746,026
令和6年度	15,746,026	1,497,900	712,648	16,531,278

5. 決算の詳細

(1) 収益的収入及び支出 (損益計算書/税抜)

(千円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減	前年度比(%)	備考	
収入	1 営業収益	3,909,794	3,631,547	278,247	107.7	※1
	(給水収益)	(3,718,256)	(3,443,567)	(274,689)	(108.0)	
	(受託工事収益)	(17,980)	(22,018)	(Δ4,038)	(81.7)	
	(その他営業収益)	(173,558)	(165,962)	(7,596)	(104.6)	
	2 営業外収益	676,487	717,951	Δ41,464	94.2	※2
	(分担金)	(164,430)	(172,180)	(Δ7,750)	(95.5)	
	(受取利息)	(2,194)	(769)	(1,425)	(285.3)	
	(他会計補助金)	(27,620)	(60,078)	(Δ32,458)	(46.0)	
	(長期前受金戻入)	(453,256)	(456,300)	(Δ3,044)	(99.3)	
	(国庫補助金)	(1,959)	(0)	(1,959)	(皆増)	
	(雑収益)	(27,028)	(28,624)	(Δ1,596)	(94.4)	
	3 特別利益	9,675	184,210	Δ174,535	5.3	※3
	(退職給付引当金戻入益)	(8,829)	(15,135)	(Δ6,306)	(58.3)	
	(過年度損益修正益)	(846)	(2,905)	(Δ2,059)	(29.1)	
(その他特別利益)	(0)	(166,170)	(Δ166,170)	(皆減)		
計	4,595,956	4,533,708	62,248	101.4		
支出	1 営業費用	4,552,545	4,524,704	27,841	100.6	※4 ※5
	(人件費)	(749,316)	(757,807)	(Δ8,491)	(98.9)	
	(受水費)	(1,245,821)	(1,252,940)	(Δ7,119)	(99.4)	
	(動力費)	(256,982)	(238,399)	(18,583)	(107.8)	
	(薬品費)	(96,641)	(95,346)	(1,295)	(101.4)	
	(修繕費)	(251,881)	(225,571)	(26,310)	(111.7)	
	(路面復旧費)	(6,368)	(3,651)	(2,717)	(174.4)	
	(委託料)	(519,150)	(527,849)	(Δ8,699)	(98.4)	
	(減価償却費)	(1,264,551)	(1,257,583)	(6,968)	(100.6)	
	(その他営業費用)	(161,835)	(165,558)	(Δ3,723)	(97.8)	
	2 営業外費用	182,536	179,878	2,658	101.5	
	(支払利息)	(182,208)	(179,316)	(2,892)	(101.6)	
	(その他営業外費用)	(328)	(562)	(Δ234)	(58.4)	
	3 特別損失	1,088	2,656	Δ1,568	41.0	
(過年度損益修正損)	(1,088)	(2,656)	(Δ1,568)	(41.0)		
計	4,736,169	4,707,238	28,931	100.6		
当年度純利益	Δ140,213	Δ173,530	33,317	-		
繰越未処分利益剰余金	197,255	370,785				
未処分利益剰余金	57,042	197,255				
利益処分額(案)	0	0				

- ※1 (増額の理由) 令和6年度料金改定296,747千円、水量減Δ22,058千円。
 ※2 (減額の理由) 令和5年度動力費に対する交付金Δ33,000千円が剥落したため。
 ※3 (減額の理由) 令和5年度に分担金の会計処理方法変更に伴う前受金残高の収益化を実施したため。
 ※4 (増額の理由) 電力料金への国の支援が減少したことなどによる増加。
 ※5 (増額の理由) 川下川貯水池の曝気(ばっき)装置、惣川浄水場の活性炭注入設備などの修繕による増加。

(2) 資本的収入及び支出 (税込)

(千円)

区分		令和6年度	令和5年度	増減	前年度比(%)	備考
収 入	1 企業債	1,497,900	1,033,000	464,900	145.0	
	(配水管整備事業)	(861,900)	(665,800)	(196,100)	(129.5)	
	(配水池用地買収事業)	(0)	(152,800)	(Δ152,800)	(皆減)	
	(送・配水施設整備事業)	(243,000)	(13,000)	(230,000)	(1,869.2)	
	(送水施設整備事業)	(0)	(121,700)	(Δ121,700)	(皆減)	
	(配水施設耐震化事業)	(393,000)	(0)	(393,000)	(皆増)	
	(浄水施設整備事業)	(0)	(79,700)	(Δ79,700)	(皆減)	
	2 他会計負担金	11,187	22,206	Δ11,019	50.4	
	3 工事負担金	24,716	0	24,716	皆増	※6
	計	1,533,803	1,055,206	478,597	145.4	
支 出	1 建設改良費	1,678,980	1,435,253	243,727	117.0	
	(事務費)	(83,741)	(86,252)	(Δ2,511)	(97.1)	
	(原水及び浄水施設費)	(38,481)	(131,751)	(Δ93,270)	(29.2)	※7
	(送水及び配水施設費)	(1,533,027)	(1,184,055)	(348,972)	(129.5)	※8
	(営業設備費)	(23,731)	(33,195)	(Δ9,464)	(71.5)	
	2 企業債償還金	712,648	691,767	20,881	103.0	
	3 投資	0	400,000	Δ400,000	皆減	※9
	計	2,391,628	2,527,020	Δ135,392	94.6	
	前年度同意債で今年度収入分	212,800	274,500	Δ61,700	77.5	
	資本的収支不足額	1,070,625	1,746,314	Δ675,689	61.3	

補 填 財 源	損益勘定留保資金	927,757	1,413,602
	消費税資本的収支調整額	142,868	119,912
	当年度同意債の未借入分	0	212,800

- ※6 (令和6年度の内容) 配水管移設工事に関する負担金 24,716千円
- ※7 (令和6年度の内容) 浄水場浸水対策工事 8,780千円
ガスクロマトグラフ質量分析装置更新 12,282千円 など
- ※8 (令和6年度の内容) 管路耐震化(更新)工事 689,598千円
高台下配水池更新工事 446,863千円
阪水系中央監視設備更新工事 222,166千円 など
- ※9 (令和5年度の内容) 下水道事業会計への貸付金 300,000千円
UR 都市再生債 100,000千円 (5年債)

6. 主要施策

(1) 施設改良・更新に関する取組

① 管路耐震化（更新）事業 689,598千円（税込）

管路更新・耐震化計画に基づいて、老朽化した管路の更新・耐震化を実施しました。

財源（千円）	
企業債	649,100
国庫補助金	0
他会計負担金	11,187
工事負担金	24,716
自己財源	4,595

場所	内容
小林5丁目外	ダクタイトル鑄鉄管φ75～300延長L=612m
未成町外	ダクタイトル鑄鉄管φ75～250延長L=612m HPφ400延長L=14m
切畑字堂山外	ダクタイトル鑄鉄管φ75延長L=544m HIVPφ50延長L=85m SUS鋼管φ80延長L=11m
千種1丁目外	ダクタイトル鑄鉄管φ200～600延長L=206m
安倉北4丁目外	ダクタイトル鑄鉄管φ100～150延長L=320m SUS鋼管φ150延長L=12m
中山寺1丁目	ダクタイトル鑄鉄管φ75延長L=65m SUS鋼管φ80延長L=17m
梅野町外	ダクタイトル鑄鉄管φ100～200延長L=56m
千種1丁目	ダクタイトル鑄鉄管φ100延長L=48m

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



管路更新工事

② 配水池加圧所耐震化（更新）事業 469,099千円（税込）

配水池・加圧所の耐震化（更新）に向けた設計業務委託を実施しました。また高台下配水池の更新・耐震化工事を実施しました。

財源（千円）	
企業債	393,000
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	76,099

場所	内容
ゆずり葉下配水池加圧所 高台下配水池	配水池加圧所設計業務委託 高台下配水池更新工事

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



高台下配水池更新工事

③ 配水池加圧所機械設備等更新事業 243,044千円（税込）

阪神水道事業団からの受水地区の中央監視設備の更新を実施しました。また雲雀丘加圧所のポンプの更新を実施しました。

財源（千円）	
企業債	243,000
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	44

場所	内容
上下水道局庁舎内 雲雀丘加圧所	阪水系中央監視設備更新工事 雲雀丘加圧所ポンプ更新工事

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



阪水系中央監視設備更新工事

④配水池統廃合事業 63,447千円（税込）

新北畑加圧所の詳細設計業務の委託を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	63,447

場所	内容
宝塚市野上4丁目外内	新北畑加圧所詳細設計外業務委託

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



加圧所統廃合図（新北畑加圧所）

⑤水質分析装置更新 12,282千円（税込）

水道水中のホルムアルデヒドなどの水質基準項目を分析する装置の定期更新を行いました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	12,282

場所	内容
水質検査室	ガスクロマトグラフ質量分析装置の更新

予算：資本的支出＞建設改良費＞原水及び浄水施設費



ガスクロマトグラフ質量分析装置

(2) 安心安全に関する取組

①小浜浄水場及び川面浄水場の浸水対策工事 18,780千円（税込）

小浜浄水場及び川面浄水場の大雨などの災害時への対策として浸水対策工事を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	18,780

場所	内容
小浜浄水場及び川面浄水場	浸水対策工事

予算：資本的支出＞建設改良費＞原水及び浄水施設費



小浜浄水場 浸水パネル

7. 管路等の耐震化の状況

(1) 基幹管路の耐震化率（口径150mm以上の管路を対象）

導水管、送水管、配水管（口径150mm以上）のうち耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の割合です。道路管理者等との調整や現場状況、工事価格の高騰等により工事の進捗が遅れています。今後は、上下水道耐震化計画と整合した管路更新、耐震化を進めます。

（基幹管路延長 L=348,715m）

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
目標値（％）	23.6	26.5	29.4	32.3	35.1
実績値（％）	15.4	16.2	16.9	18.4	18.8

(2) 管路耐震化率（全管路対象）

管路のうち、耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の割合です。道路管理者等との調整や現場状況、工事価格の高騰等により工事の進捗が遅れています。今後は、上下水道耐震化計画と整合した管路更新、耐震化を進めます。

（全管路延長 L=819,731m）

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
目標値（％）	12.6	13.8	15.1	16.3	17.6
実績値（％）	11.1	12.1	12.7	14.0	14.4

(3) 配水池の耐震化率

配水池のうち、耐震化がなされている施設の容量の割合です。比較的小規模な配水池における老朽化対策と併せた耐震化工事を実施したため、目標値に達していません。今後は、耐震二次診断による耐震性能の確認を進めるとともに、配水池統廃合事業を進めることで耐震化率の改善を図ります。

（配水池数 48カ所）

		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
耐震化済箇所数（カ所）		12	12	13	14	15
耐震化率 （容量比）	目標値（％）	52.2	52.2	55.5	59.7	61.0
	実績値（％）	47.0	47.0	49.1	49.2	50.7

(4) 加圧所の耐震化率

加圧所のうち、耐震化がなされている施設能力の割合です。令和6年度から独自の指標から水道事業ガイドライン（JWWA Q 100）にて示されている指標に変更しました。（令和5年度以前と同じ方法で算定した場合においても、目標値は達成しています。）

（加圧所数 27カ所）

		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
耐震化済箇所数（カ所）		12	12	13	15	15
耐震化率 （能力比）	目標値（％）	25.6	25.6	25.6	26.7	28.0
	実績値（％）	28.9	28.9	32.8	40.1	54.6

※ 目標値は水道事業経営戦略に掲げた数値です。

8. 主な経営数値

(1) 経常収支比率

経常費用が経常収益によってどの程度まかなえているかを示す指標です。100%で経常費用と経常収益が均衡、100%未満では損失が発生しています。どの年度も100%を下回っており、安定した経営の実現のため、令和6年4月から改定率を平均19%（ただし、令和6年4月から令和7年3月までは経過措置期間として改定額を半額）とする料金改定を実施するなど改善への取組みを進めています。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
経常収支比率 (%)	93.4	92.3	88.2	92.5	96.9

(2) 純利益及び未処分利益剰余金

当年度純利益は令和元年度から6年連続でマイナスです。その累積額である未処分利益剰余金は、令和6年度末には57,042千円まで減少しました。令和6年4月から料金改定を実施しておりますが、依然として厳しい状況が続いております。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
当年度純利益 (千円)	△290,930	△333,692	△466,861	△173,530	△140,213
未処分利益剰余金 (千円)	1,171,338	837,646	370,785	197,255	57,042

(3) 現金預金残高

現金預金残高に大口定期等と他会計貸付金を加算した合計額は、4,212,790千円となりました。前年度比では291,065千円の増加となりました。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
現金預金残高 (千円)	4,030,269	3,541,313	3,087,797	2,251,725	2,542,790
大口定期等 (千円)	300,000	0	0	100,000	100,000
他会計貸付金 (千円)	920,000	1,220,000	1,270,000	1,570,000	1,570,000
合計 (千円)	5,250,269	4,761,313	4,357,797	3,921,725	4,212,790

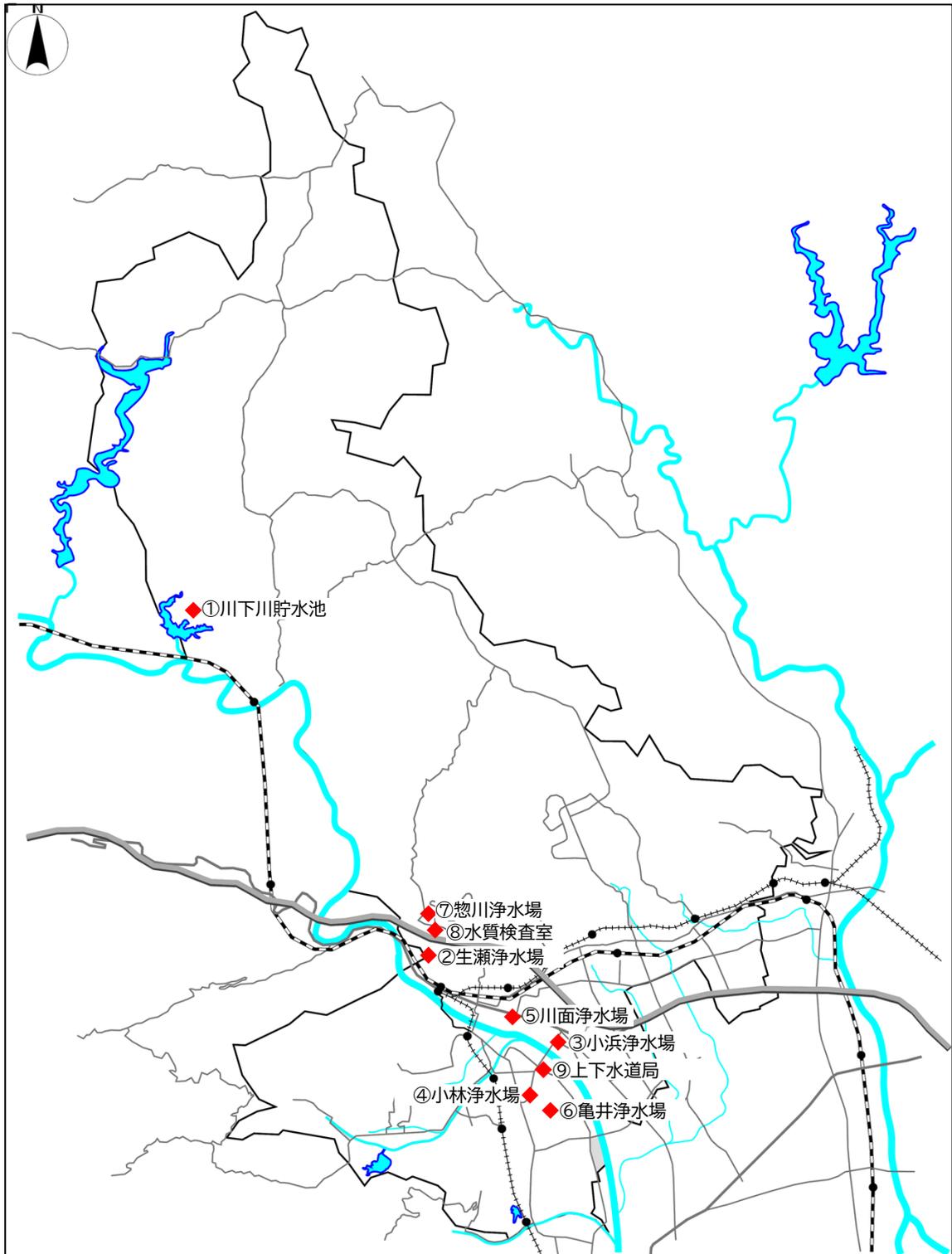
(4) 給水原価及び供給単価

供給単価は1㎡あたりの平均収益、給水原価は1㎡の水道水を作るのに要する費用で、すべての年度で給水原価が供給単価を上回っています。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
供給単価 (円)	131.0	150.5	141.5	152.0	165.2
給水原価 (円)	165.2	179.5	190.0	186.6	189.2
差引 (円)	△34.2	△29.0	△48.5	△34.6	△24.0

9. 主な水道施設の一覧と職員の配置状況

(1) 水道施設位置図



(2) 職員の配置状況

令和7年3月31日現在

	施設名	所在地	職員の配置	備考
①	川下川貯水池	玉瀬字イズリハ～ 神戸市北区道場町 生野	0人	
②	生瀬浄水場	西宮市生瀬東町4番 1号	業務委託	浄水池及び送水ポンプのみ稼動。
③	小浜浄水場	小浜3丁目5番20号	浄水課 6人(6人)	
④	小林浄水場	亀井町1番23号	0人	浄水停止。
⑤	川面浄水場	旭町3丁目92番地	0人	浄水池及び送水ポンプのみ稼動。小浜浄水場職員が管理。
⑥	亀井浄水場	亀井町9番46号	0人	浄水停止。
⑦	惣川浄水場	すみれが丘4丁目 2番1号	浄水課 12人(12人)	
⑧	水質検査室	すみれが丘4丁目 2番3号	水質検査室 5人(5人)	
⑨	上下水道局	東洋町1番3号	上下水道事業管理者 1人(1人) 上下水道局長 1人(1人) 経営管理部長 1人(1人) 施設部長 1人(1人) 総務課 8人(5人) 経営企画課 7人(6人) 浄水課 8人(8人) 工務課 24人(24人) 給排水設備課 16人(11人) 下水道課 13人(0人)	

()内は、うち水道事業会計職員 合計81名